

事務事業の効率的な実施と若手職員の人材育成（京都府福知山市）

取組概要

「事業棚卸」

市の事務事業をCAPDサイクルの「チェック」の過程において、全事業の棚卸しを実施するとともに、一部を公開事業検証として市民の理解を得ながら実施し、市の行財政経営マネジメントシステムを構築しています。

実施事業数ー平成28年度:132事業(28事業)、平成29年度:386事業(27事業)
※カッコ内は公開事業検証対象事業数

取組の効果

【事業棚卸し対象事業に係る歳出減】

平成29年度:△127,417千円(対前年比)

平成30年度:△317,188千円(対前年比)

※大規模な投資的経費など特殊事情を除く

【事業棚卸しによる事業見直し率】

平成28年度:廃止11.4%、他事業と統合16.7%など

平成29年度:廃止9.6%、他事業と統合29.8%など

創意・工夫した点

- ★「公開事業検証」実施により、**市民にも広く施策実施状況を伝え**、市民参画によるまちづくりの推進を図る。
- ★棚卸し実施メンバーには、外部有識者に加え**若手職員**を積極的に起用し、職員の**人材育成の場**として活用。
→所属部署とは違う所管の事業棚卸しに関わることで、幅広い視点を養うとともに、政策立案に必要となる基礎知識を学ぶ。
→**市民目線**で、客観的に事業を見つめる場とする。

他団体へのアドバイス

- ・事業実施にむけ、外部有識者との連携や事務作業など様々な課題があるが、事業の精度を高め、効率的な行政運営を行う上で、実施する価値のある事業だと考えている。
- ・事業実施の目的を全職員が理解し、全庁的な取組として進められるかが大きな鍵。

人口 79,305人(H30.1.1現在)

担当 経営戦略課



公開事業検証の様子（H29）



若手職員による事業棚卸し風景